



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 フィード・ワン株式会社 上場取引所 東
コード番号 2060 URL <https://www.feed-one.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 庄司 英洋
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務経理部長 (氏名) 望月 弘次 TEL 045-311-2300
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	238,369	4.2	5,063	569.7	5,148	395.1	3,257	411.6
2023年3月期第3四半期	228,746	25.2	756	△81.5	1,039	△78.2	636	△80.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,787百万円 (541.9%) 2023年3月期第3四半期 589百万円 (△82.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	85.22	-
2023年3月期第3四半期	16.69	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	138,760	48,212	34.3
2023年3月期	127,913	45,314	35.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 47,633百万円 2023年3月期 44,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	12.50	-	12.50	25.00
2024年3月期	-	12.50	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	14.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	313,000	1.7	7,500	427.2	7,500	338.3	4,800	365.6	125.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	38,477,128株	2023年3月期	38,477,128株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	212,283株	2023年3月期	297,519株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	38,226,962株	2023年3月期3Q	38,162,285株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式（2024年3月期3Q 166,960株、2023年3月期253,960株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示し、当社ホームページにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年12月31日まで)のわが国経済は、緊迫した世界情勢に起因するエネルギー価格の高止まりや金融資本市場の変動、国内の物価上昇等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。他方では社会活動の正常化が一段と進み、各種の経済指標にも明るい兆しが見え始めてまいりました。

飼料業界におきましては、ロシア・ウクライナ情勢を始めとした政情不安が続いておりますが、主原料であるとうもろこしのシカゴ先物価格は、安定した収穫量の見通しに支えられ下降傾向が続いており、当社グループは昨年1月以降、4月、7月、10月と4四半期連続して畜産用配合飼料価格を引き下げました。しかしながら、海上運賃の値上げや為替相場の円安進行により円貨建ての原材料価格は不透明な状況が続いており、飼料価格安定基金負担金の増額等もあり、事業環境は依然として予断を許さない状況が続いております。

畜産物につきましては、豚肉相場は、記録的な猛暑や疾病の影響により発育成績が悪化し出荷頭数が減少したことから、前年同期を上回って推移してはいたしましたが、秋以降の気温低下に伴い出荷頭数が回復し、10月以降の相場は前年同期を下回って推移しております。鶏卵相場は、2022年10月より各地で発生した鳥インフルエンザや記録的な猛暑の影響により供給量が減少したことから、前年同期を上回って推移してはいたしましたが、鳥インフルエンザ発生農場の再稼働等により供給量は増加傾向にあり、11月以降の相場は前年同期を下回って推移しております。牛肉相場は、物価高騰による消費者の生活防衛意識の高まりにより牛肉への需要が減少したことから、前年同期を下回って推移しております。

こうした環境にあつて、当社グループは原料調達多様化・生産体制の合理化、畜産・水産生産者へ供給する製品の品質向上及び生産成績改善につながるサービス提供等の取り組みを進めてまいりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は2,383億6千9百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益は50億6千3百万円(前年同期比569.7%増)、経常利益は51億4千8百万円(前年同期比395.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億5千7百万円(前年同期比411.6%増)となりました。

セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

① 飼料事業

飼料事業では、4四半期連続の値下げにより畜産飼料の平均販売価格は前年同期を下回ったものの販売数量が増加しており、また、水産飼料は平均販売価格・販売数量ともに前年同期を上回ったこと等から、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,021億2千6百万円(前年同期比2.8%増)となりました。営業利益は、畜産・水産飼料ともに前年同期に比べて収益環境が大幅に改善したこと等から、61億3千8百万円(前年同期比134.7%増)となりました。

② 食品事業

食品事業では、豚肉相場・鶏卵相場ともに秋以降は値を下げて推移しているものの、前年同期対比では依然高値で推移していること等から、当第3四半期連結累計期間の売上高は343億1千5百万円(前年同期比13.2%増)となりました。営業利益は、食品関係子会社における販売価格条件の改定が進んだこと等により、6億1千1百万円(前年同期は2億7千万円の営業損失)となりました。

③ その他

畜水産機材の販売及び不動産賃貸の事業等であり、当第3四半期連結累計期間の売上高は19億2千7百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益は2億2千4百万円(前年同期比11.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であった影響等により、現預金や売上債権が増加したこと等から、1,387億6千万円(前期末比8.5%増)となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であった影響等により、短期借入金は減少した一方、仕入債務は増加したこと等から、905億4千7百万円(前期末比9.6%増)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により482億1千2百万円(前期末比6.4%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想及び配当予想につきましては、2024年2月2日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,379	14,772
受取手形及び売掛金	51,375	56,754
電子記録債権	3,885	4,808
商品及び製品	3,070	3,361
原材料及び貯蔵品	17,156	14,126
動物	357	389
その他	2,791	2,325
貸倒引当金	△180	△173
流動資産合計	85,836	96,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,002	12,618
機械装置及び運搬具（純額）	11,217	10,449
土地	6,114	6,090
リース資産（純額）	727	653
建設仮勘定	68	43
その他（純額）	538	529
有形固定資産合計	31,668	30,385
無形固定資産		
その他	916	1,413
無形固定資産合計	916	1,413
投資その他の資産		
投資有価証券	8,531	9,794
長期貸付金	12	2
破産更生債権等	327	280
繰延税金資産	274	174
その他	702	662
貸倒引当金	△356	△316
投資その他の資産合計	9,491	10,596
固定資産合計	42,076	42,396
資産合計	127,913	138,760

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,482	47,709
短期借入金	16,803	7,790
リース債務	126	121
未払法人税等	467	1,295
賞与引当金	558	309
資産除去債務	—	77
その他	5,636	8,182
流動負債合計	60,074	65,487
固定負債		
長期借入金	19,208	21,572
リース債務	658	578
繰延税金負債	203	500
役員株式給付引当金	173	124
退職給付に係る負債	2,234	2,236
資産除去債務	3	3
その他	42	45
固定負債合計	22,523	25,060
負債合計	82,598	90,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	9,737	9,737
利益剰余金	23,952	26,249
自己株式	△244	△172
株主資本合計	43,445	45,814
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,229	1,924
繰延ヘッジ損益	32	△233
為替換算調整勘定	61	127
退職給付に係る調整累計額	△0	1
その他の包括利益累計額合計	1,323	1,819
非支配株主持分	546	579
純資産合計	45,314	48,212
負債純資産合計	127,913	138,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	228,746	238,369
売上原価	211,993	216,367
売上総利益	16,752	22,001
販売費及び一般管理費	15,996	16,938
営業利益	756	5,063
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	145	156
持分法による投資利益	25	—
備蓄保管収入	105	102
その他	283	178
営業外収益合計	568	445
営業外費用		
支払利息	107	140
持分法による投資損失	—	187
その他	177	32
営業外費用合計	284	360
経常利益	1,039	5,148
特別利益		
固定資産売却益	35	12
投資有価証券売却益	204	74
補助金収入	1	—
特別利益合計	241	87
特別損失		
固定資産売却損	7	9
固定資産除却損	30	27
減損損失	208	94
リース解約損	—	0
子会社整理損	0	—
投資有価証券評価損	—	2
工場閉鎖損失	—	145
特別損失合計	246	280
税金等調整前四半期純利益	1,035	4,955
法人税、住民税及び事業税	214	1,465
法人税等調整額	164	199
法人税等合計	379	1,664
四半期純利益	656	3,290
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	636	3,257

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	656	3,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	276	695
繰延ヘッジ損益	△405	△266
退職給付に係る調整額	8	2
持分法適用会社に対する持分相当額	53	65
その他の包括利益合計	△66	496
四半期包括利益	589	3,787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	570	3,754
非支配株主に係る四半期包括利益	19	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員向け株式交付信託)

当社は、当社取締役(社外取締役を除く。以下について同じ。)及び当社と委任契約を締結している執行役員(以下総称して「取締役等」という。)を対象とする株式報酬制度「役員向け株式交付信託」(以下「本制度」という。)を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、取締役等の報酬として、当社が金銭を拠出することにより設定する信託(以下「本信託」という。)が当社株式を取得し、当社が定める「株式交付規程」に基づいて、各取締役等に付与するポイントの数に相当する数の当社株式等が本信託を通じて交付されます。

また、本制度は、2021年5月19日の取締役会において延長されることが決議されました。延長後の本制度においては、2022年3月末日で終了する事業年度から2025年3月末日で終了する事業年度までの3事業年度の間在任する取締役等に対して当社株式等が交付されます。なお、当社取締役等が当社株式等の交付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

本制度に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じて、総額法を適用しております。なお、「株式交付規程」に基づく当社取締役等への当社株式の交付に備えるため、当第3四半期連結会計期間における株式給付債務の見込額に基づき役員株式給付引当金を計上しております。

(2) 信託に残存する自社の株式

本信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度末の当該株式の帳簿価額は214百万円、株式数は253,960株であり、当第3四半期連結会計期間末の当該株式の帳簿価額は140百万円、株式数は166,960株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料事業	食品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	196,552	30,321	226,873	1,872	228,746	—	228,746
外部顧客に対する売上高	196,552	30,321	226,873	1,872	228,746	—	228,746
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,205	4	1,210	247	1,457	△1,457	—
計	197,758	30,325	228,083	2,119	230,203	△1,457	228,746
セグメント利益又は損失(△)	2,616	△270	2,345	201	2,546	△1,790	756

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜水産機材の販売及び不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,790百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,798百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飼料事業」セグメントにおいて、将来の使用が見込まれなくなった資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、7百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

また、報告セグメントに配分されない減損損失は、200百万円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料事業	食品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	202,126	34,315	236,441	1,927	238,369	—	238,369
外部顧客に対する売上高	202,126	34,315	236,441	1,927	238,369	—	238,369
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,191	2	1,194	307	1,501	△1,501	—
計	203,318	34,317	237,635	2,235	239,871	△1,501	238,369
セグメント利益	6,138	611	6,750	224	6,975	△1,911	5,063

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜水産機材の販売及び不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,911百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,919百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食品事業」セグメントにおいて、将来の使用が見込まれなくなった資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、74百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

また、報告セグメントに配分されない減損損失は、20百万円であります。